

2019年度(令和元年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

<学校用>

校番(13)番 福山市立大成館中学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	コミュにケーション能力	思いやり		
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童生徒の姿)	他者の意見をふまえ、自分の考えと、その理由を明らかにし、自分の考えを発信できる。	リーダーとしての自覚を持ち、積極的に下級生に関わり「歌声文化」を継承発展することができる。		

2 授業の現状

①生徒の主体的な学びを引き出す「ねらい(めあて、課題)」の設定及び、生徒が自らの言葉で、自ら考え、自ら表現(特に書くこと)する「まとめ」が不十分である。また、②他者の考えを参考に自分の考えを修正することや、日常生活と関連させた個人・集団思考が不十分である。

転換

3 めざす授業の姿

・生徒が課題意識を持って授業に参加している。
 ・生徒が「ねらい(めあて、課題)」に対する「まとめ」を自らの言葉で、自ら考え、自ら表現(特に書くこと)する。
 ・生徒が、他者の考えを参考に修正することや、日常生活と関連させた思考ができる。

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組 「2. 授業の現状」の①及び②を充実させる。 ・「子ども主体の学び」を図るための教材や学習形態を工夫すると同時に、課題発見・解決学習やジグソー学習等を授業に取り入れる。 ・活用問題を定期試験に入れる。	8月末の状況 本年度全国学力・学習状況調査において調査実施教科の数値が概ね県平均となり、「子ども主体の学び」に向けた取組の成果が徐々にあらわれている。また、自己肯定感等に係る質問の肯定的評価が県平均より約5ポイント高い。	9月からの取組 ・引き続き、「2. 授業の現状」の①及び②を充実させる。 ・それぞれの教科において個別最適化に配慮した授業改善を進める。	12月末の状況 授業改善を進めているが、アンケートの結果では、考えることが面白いと肯定的に答える生徒の数、自分の考えは、認められていると肯定的に答えた生徒の数は微減した。	1月からの取組 ・引き続き、「2. 授業の現状」の①及び②を充実、発展させる。 ・それぞれの教科において個別最適化に配慮した授業改善を進め、活用問題を定期試験に入れる。	2月末の状況 ・「2. 授業の現状」の①及び②を充実、発展させる。 ・次年度、授業改善の視点から定期試験にノート持込可とする。
--	--	---	---	---	--

5 取組の結果等

数値は2019年(R1年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%)	〈児童生徒質問紙調査〉(%)	(肯定的評価)	
国語	72(-2)	自分にはよいところがある	82.7
算数(数学)	58(-2)	先生はよいところを認めてくれる	85.0
英語	54(-2)	将来の夢や目標を持っている	75.6
		人の役に立つ人間になりたい	96.0

()は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査	〈児童生徒質問紙調査〉(%)	(肯定的評価)
学校へ行くのは楽しい		89.6
「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしている		67.7
授業では、課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思う		74.0
授業では、友だちと話し合うなどし、考えを深めたり広げたりしている		86.4

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%)	(2)月末現在
暴力行為	0.0
不登校	8.3

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 1/48	男子目標値 10 項目、女子目標値 12 項目に対し、男女とも上回ることができなかった。	「男女共通」 ・どの学年も50m走の記録が超えられない状況が続いている。	今年度の体力テストの結果を基に、グループで補強運動の内容を考えさせ、自己の弱い部分を年間を通して鍛えていけるような取り組みを行う。
(女子) 7/48			
目標値	男子目標値8項目、女子目標値12項目を、県平均値や全国平均値を上回ること。		

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	100.0	0.0
仕事に充実感がある	94.7	5.3

児童生徒アンケート(%) (12)月実施

質問項目	当てはまる	当てはまらない
授業で考えることが面白い	83.7	16.3
自分の考えは、認められている	81.7	18.3